

議会だより

第 36 号

平成28年3月1日 発行

熊野川状況視察（熊野川流域対策特別委員会）



議 会 日 誌

平成27年10月～12月

- | | | | | | |
|-----|-----|---|-----|-----|--|
| 10月 | 1日 | 新宮市制施行10周年記念式典
地方創生まちづくり特別委員会 | 11月 | 11日 | 議長全国大会（東京）[12日まで] |
| | 7日 | 東紀州農業共済事務組合定例会（熊野市）
近畿自動車道紀勢線建設特別委員会要望活動 [8日まで]
7日（紀勢国道事務所・三重県・中部地方整備局）
8日（国土交通省・地元選出国會議員） | | 12日 | 紀宝町まち・ひと・しごと創生会議 |
| | 11日 | 紀北町制10周年記念式典 | | 24日 | 南牟婁郡交通安全対策協議会委員会（御浜町）
環境保全対策特別委員会
教育民生常任委員会
全員協議会 |
| | 13日 | 熊野川改修促進期成同盟会要望活動（近畿地方整備局） | | 26日 | 県議会に対する要請活動（津市） |
| | 15日 | 紀宝町戦没者追悼式
三重県町村議会議長会理事会（津市） | | 27日 | 三重県身体障害者福祉大会（まなびの郷） |
| | 18日 | 港フェスタ | 12月 | 1日 | 交通安全出発式（御浜町） |
| | 19日 | 三重県・奈良県リニア中央新幹線建設促進会議（津市） | | 2日 | 近畿自動車道紀勢線建設特別委員会 |
| | 20日 | 議員研修島根県海士町・鳥取県智頭町 [22日まで] | | 6日 | みえ地震対策の日シンポジウム（紀北町） |
| | 23日 | 兵庫県淡路市議会行政視察来町（タイムライン等について）
近畿自動車道紀勢線建設特別委員会要望活動
（紀南河川国道事務所・近畿地方整備局）
新議員研修会（津市） | | 8日 | 議会運営委員会 |
| | 25日 | 熊野市制10周年記念式典 | | 9日 | 紀宝町老人福祉大会 |
| | 26日 | 三重県町村議会議長会県外視察（福井県永平寺町）[27日まで] | | 10日 | 地方創生まちづくり特別委員会
議会運営委員会 |
| | 28日 | 京都府福知山市議会行政視察来町（タイムライン等について）
国道168号（五条・新宮間）整備促進協議会総会（大阪） | | 14日 | 紀宝町制10周年記念功労者表彰等選考委員会 |
| | 29日 | 議会運営委員会 | | 15日 | 第4回定例会・第1日目 |
| | 30日 | 三重県関係部長等との意見交換会（津市） | | 16日 | 第4回定例会・第2日目
近畿自動車道紀勢線建設特別委員会 |
| 11月 | 2日 | 議会運営委員会
第2回臨時会 | | 17日 | 第4回定例会・第3日目
議会運営委員会 |
| | 6日 | 議会マネジメント研修（津市） | | 20日 | 紀南剣道大会（田代体育館） |
| | | | | 21日 | 一般国道42号 新宮紀宝道路説明会 |
| | | | | 22日 | 紀南介護保険広域連合定例会（熊野市）
伊勢志摩サミット議会フォーラム（津市） |
| | | | | 24日 | 三重県後期高齢者医療広域連合定例会（津市） |
| | | | | 25日 | 熊野川流域対策特別委員会 |

12月定例会 一般質問

(要約)

新宮紀宝道路

・国道42号高規格道路
新宮紀宝道路事業について
・学校防災について

平野 美津子 議員



議員

住民から要望のあった国土交通省・紀宝町・住民の三者の話し合いについてお尋ねします。高規格道路新宮紀宝道路は、1級河川熊野川を橋梁でまたいで、紀宝町及び新宮市を結び、近畿自動車道紀勢線の1部を担うため計画されています。現在工事着手に向けて国土交通省により設計及び調査が実施されている。この道路のルート上では、海岸沿いのわずかな平地に集まった住宅や明治期に南方熊楠らが反対した神社合祀令での廃止を逃れた烏止野神社が、周辺に多様な暖帯性の森林を抱え

平成27年第4回紀宝町議会定例会は12月15日に開会しました。第1日目は、初めに、議長報告と各委員会委員長報告があり、次いで、町長から、第3回定例会以降の町行政各般にわたる報告がありました。その後、一般質問が行われ、第2日目の16日にわたり6人の議員が、質問に立ち、諸課題について、当局の取り組みと考え方を質しました。引き続き、公平委員会委員の選任、条例制定3件、条例の一部改正5件、新町まちづくり計画の変更、一般会計補正予算の議案を原案どおり可決しました。第3日目の17日には、特別会計補正予算(3件)、決議を原案通り可決し閉会しました。

つつ地域住民により保存されています。安心した住民のコミュニティと豊かな風致は、道路事業で大部分が移転することにより失われてしまうことになると思います。烏止野神社の鎮守の森については2000平方メートルの内に50科70種の草樹が自生し、内オダマキを食する「ミカドアゲハ」が繁殖するため隣地とこの蝶を紀宝町の指定文化財としている。2015年5月高規格道路新宮紀宝道路は、地域社会の保存を願う多くの住民の意向に関わらず、道路整備についての漠然とした、総論賛成のアンケート結果を

根拠に道路計画が提示されました。道路による移転を望まない地権者や周辺住民は道路事業が本格化し、既成事実が蓄積されれば、立ち退き移転を土地収用法により余儀なくされる状況です。計画が確定されるまでに見直しを図ることが、不可欠である。なお、以前から一般質問でも取り上げました都市計画が立てられず、道路等の施設計画決定に関して、住民の意見を諮る機会が法的に担保されていません。以上のことから考えて西田町長・担当理事・紀宝町議会の「近畿自動車道紀勢線建設特別委員会」に対し「国土

交通省」「紀宝町」「ルート変更を要望している住民」との話し合いを持つことを要求し実現することを約束しておりましたが、約束が守られておりません。その理由を説明してください。

産業基盤整備担当理事

住民の方から要望のありました「国土交通省」「紀宝町」「住民ルート変更を求める会」の方々と三者の話し合いにつきましては、9月12日・13日に、予備設計の参考とさせて頂くため新宮紀宝道路にかかる機能回復道路等の意見交換会を開催させて頂き「鶴殿3組」の方を対象に、機能回復道路や排水路等のご意見を賜ったところでございます。この中で議員ご指摘の三者での話し合いについて意見を頂いております。国土交通省紀南河川国道事務所にお伝えしているところでございます。

議員

地域住民のルート変更して欲しいという希望者達の思いは日々ひしひしと深くなっています。不安も募っています。年齢的にも高齢者の多い地域です。ただお伝えして頂

くだけでは、実現可能ではないと思います。住民の立場を把握して頂きまして、国土交通省に申し入れ、要望を実現していただきたいという要望は、何回も行っております。どのようなかたちで実現しようとしていられるのでしょうか。

産業基盤整備担当理事

議員ご指摘の三者の話し合いについては、町としてもその分について、ご要望がありますとお伝えしています。それについて回答がないということです。ごめします。

議員

回答がなければ、なぜなのか聞いて頂かなければいけないし、皆さん陳情に何回も行っていますよね。その中でそういう要求をあげて頂けないのでしょうか。

産業基盤整備担当理事

陳情・要望は広域で年二回しておりますが、新宮市、熊野市間の高速道路全線事業化についてで、三者での話し合いに特化した要望はさせて頂いてません。

議員

10月23日は、田辺の紀南河川国道事務所では町長さんをはじめ職員そして特別委員会の

議員さんにお会いしました。紀宝町だけでしたね。紀宝町で起っている事態について、きちんとお話しして頂いてなぜ実現できないのか疑問に思っているところです。どうなんですか。

産業基盤整備担当理事

担当レベルでは、三者の話し合いについてお伝えしていますが要望については、賜りましたということで開催するつもりはないとも回答は頂いておりません。

学校防災

議員

自助・共助は、三重大学の川口先生に来て頂いて訓練されていると聞いております。安全性について教育委員会としてはどのように取り組まれていますか

教育課長

海岸部と山間部付近に学校があり、想定する災害対応も

違いがあります。その地域の特性を知ることが重要なことです。こういった場所が危険なのか防災教育等で行なっており、フィールドワーク等を通して子ども達自身に考えさせる授業を行っております。

議員

矢渕中学校の場合県が調査した結果レッドゾーンで囲まれている。こういう訓練をすれば子どもたちはこれをクリアできるのですか。

教育課長

県が調査した結果は、詳細を学校関係者に説明して頂けると聞いています。ソフト対策を十分に行って行きたいと思っております。ハード整備につきましても県へ要望し、より安全な対策をすすめたいと思っています。平成24年度に強固なフリーフレーム工法で、コンクリート吹き付けによる法面保護の整備を実施し、それ以前には西側に県の治山事業で整備して頂き安全対策の向上に努めています。今後も防災教育を進めたいと考えています。

※この他に「紀宝町放課後クラブの保護者負担金引き下げ」「ゼロ歳児保育」「地域格差の解消」「高齢化対策」についての質問がありました。



原 章三 議員

- ・地域医療構想について
- ・国保都道府県一本化について
- ・保育料値上げについて

他

地域医療構想

議員

10月17日、団塊の世代が76歳以上となる2025年（平成37年）の医療体制を議論する東紀州地域医療構想会議が

開かれ、その中で2025年度の必要病床数については最高で50%減になると新聞報道されました。これまでの会議でどのように進められてきたのか。また紀南病院における増減、新規建て替えでの病床数はどのようなになるのか。お伺いします。

健康福祉担当理事

地域医療構想については、三重県を八つの区域に分割、東紀州では尾鷲、熊野、紀北、御浜、紀宝の2市3町で構成され、人口減少とともに医療需要も減少が見込まれることによって病床数も減っている方向が示されています。紀南病院では現在278床が建て替えて244床、34床の減少です。この減は地域医療構想に関係なく、10年後の地域包括ケアシステムの構築をにらんだ病床の転換です。

議員

東紀州地域は様々な地域間格差があり医療事情でも違いがあります。やはりそれぞれの実態に即した医療体制をつくる必要があると考えます。今日でも専門医療婦人科がいなくなった。憲法に沿った住民のいのちを守る地域医

療の在り方と今何が求められているか全体で一致団結して頑張るべきではないか。

町長

東紀州地域は人口減少と出生数の低下で産婦人科が休診になったことは大変残念に思っているところです。我々がこの地域で生活をして行くうえで大切なことは安心、安全に暮らせるということで、やはり医療機関がしっかりといることを考えます。特に紀南病院においては災害時の拠点病院となりうる病院の構築をしていく。今後、申すところは申し上げて地域の医療体制をしっかりと守っていきたいと思っています。

国保都道府県一本化

議員

平成27年5月、国保都道府県一本化が成立し、2018年から国保制度の大改変が実施されます。この制度は低所得者層が加入する保険制度で

あり今日の状況では滞納者の増加に歯止めがかからないのが実態です。新制度では各都道府県が強力な権限を持ち市町村を監督する。さらに市町に納付金の100%完納を義務づけることになります。当町でも滞納者が394人、滞納額が約9千9百万円にもなっています。新制度スタートでどうなっていくのかお聞きします。

健康福祉担当理事

平成30年度から標準税率が示され、納付金についてはこれを参考にしながら決められることとなります。未納未収金については紀宝町が責任をもって徴収することになります。

議員

紀宝町ではこの5年間で5%の値上げをおこなってきた。平成29年度からは消費税10%で生活困窮者方たちの負担が益々増えることとなります。全国知事会では高すぎる国保に対し、1兆円の国庫負担を要求しております。これが実現されると一人当たり3万円、4人家族なら12万円の軽減になります。町長として福祉の町を自称するにあたり

要望すべきではないかと思えます。

保育料の値上げ

議員

子育て支援制度がスタートし、9月から新たな階層区分で保育料の改定をおこないました。何人かのひとに聞きましたところAさんの場合、子ども1人夫婦共働きで8月までは2万5千6百円でしたが9月からは3万4百円に、4千8百円も上がりました。Bさんの場合、2万7千7百円が3万2千2百円（4千5百円の値上げ）になりました。逆に下がったひとと二人おります。算定方法についてどうなっているのか。

健康福祉担当理事

保育料についてはこれまでの所得税額から住民税に同じた算定に改められました。階層区分や保育料がこれまでより高くないよう配慮させて頂いてございます。ただ

個々に収入状況又は、控除の状況によって階層が変わる場合もあるかと思えます。

議員

保護者の方の話では説明会もなく通知だけが来ただけというものでした。年間6万円もの値上げは大変です。今後上げ幅に上限を設けて再検討すべきと考えますがいかがですか。

健康福祉担当理事

今回のことが収入によるものなのか、階層の幅によるものなのか勉強させて頂きたいと思っています。

土曜保育の拡大

議員

相野谷地域の保護者から相野谷保育所での土曜延長をおこなってほしい、また保育時間の延長や早朝に行ってほしいとの要望があるがいかがですか。

健康福祉担当理事

町全体で子育てをしていくことは非常に重要なことだと考えています。今後町内5か所のそれぞれの保育ニーズを整理して子育て支援に資する施策を検討してまいりたいと考えております。

※この他に「TTP大筋合意と地域農業」「マイナンバー制度」「防災関連事業」についての質問がありました。





向井 健雅 議員

・新宮紀宝道路(河口大橋)について

新宮紀宝道路

議員

新宮紀宝道路河口大橋について現ルートの早期実現という立場で質問をさせて頂きました。18年の合併時、町長が、立候補の公約の中に、紀宝バイパスの完成と合わせて河口大橋の8年後の実現というところで出馬をされた訳でございます。この事業に関しましては、100年に一度の大事業じゃないかということも申し上げてまいりました。3月以

降の動きの中で、民間団体が、現ルートの実現を賛同してくれる方に署名ということとで活動が行われました。今のルートで推進をする立場での署名活動だということで、そのことを受けて、協力をさせて頂きました。その賛成の署名も、トータルで、約9,600。町内が、約5,800というふうに新聞紙上でも発表をされました。そういう方達の思いを町の今後の取り組み姿勢として、どう捉えていくのかお聞きを致します。

産業基盤整備担当理事

今後につきましては、国土交通省では、昨年度より、地質調査や関係機関協議を実施し、結果を反映した道路設計を進めており、12月21、23日の両日2会場におきまして住民説明会を開催すると伺っております。町といたしましては、住民の皆様のご意見を拝聴し、不安の解消や相談事にも耳を傾けさせて頂き、新宮紀宝道路がより良いものとなりますよう取り組んでまいります。

議員

これから、まず、予備設計が出てこないという詳しい意

見も当然聞けません。町としての国に対して要望というのは、町民から汲み取るだけじゃ無しに、併せて町として考え方も国に要望として上げていくという姿勢も必要じゃないか。そのことも大事だと思いますが。

政策担当理事

この高速交通網体系、当地域の長年の悲願で有りました。地域振興の舞台となるべきものであると、町の方でも当然考えております。更に、これまでも言われてもおります防災面の強化に役立つツールとしてきちっと整備をして頂く。また町においても、整備をしていく。そして、地場産品や地域間交流などの振興これらにも当然、目的として、利用、活用してまいりたい。そういう全ての舞台となるべく、この高速交通網、新宮紀宝道路については、整備を図ってまいりたいというふうに町としても考えております。町としての考え方を、国土交通省の方へもきちつと伝えて実現するような努力を重ねてまいりたいというふうに考えております。

議員

道路を造ったあと、今、不安視されているのは、素通りで、鶴殿地内の商店街が疲弊していくんではないかということとです。これは、民間の方の、努力も必要ですし、出来ない部分について、行政においても何らかの手当を考えていかなければならない部分だと思います。十分官民合わせて考えていかなければならない問題だというふうに思っておりますので、その点も十分、今後力を添えて頂きたい。今後、1日も早い、この近畿自動車道新宮紀宝道路完成に向けて努力をして頂きたいと思えます。最後に、町長の思いをお伺い致します。

町長

10年前に、公約として、バイパスの早期完成と熊野川河口大橋の8年後の実現というのを掲げて選挙戦を戦ってきました。バイパスまた河口大橋の実現というのを欠かさず取り組んできたところでございますし、そういった意味では、まさに8年後に事業化になったという事でございまして、地域の皆様方、また、議会の皆様方、そして、国、県、色んな皆様方のご支援、ご協力

を頂く中で、強力な取り組みを進めることによって、実現にいったんたろうというふうに思っております。近畿自動車道紀勢線建設につきましては、防災面のみならず医療、経済、物流、観光等の多面的に渡る未来への当地域の夢を繋ぐ、また、扉を開く重要な路線であるというふうに認識を致しておるところでございます。紀伊半島一周する道路の実現に向けても、新宮紀宝道路の1日も早い完成というのは、更に次に繋げて行くためにも大変重要だということに考えております。皆様のお力添えを頂く中でしっかりと取り組みを進めて行き、1日も早い完成に向けて努力をしてまいりたいというふうに思っておりますので、今後とも、どうぞよろしくご支援、ご指導賜りますようお願い申し上げます。



浅田 和江 議員

・民泊について
・北越紀州製紙の工場排水について

民泊

議員

農林漁業体験民宿について、紀宝町における民泊の現状と、今後の開業見込みはどのようなになっていますか。

産業基盤整備担当理事

現状については、現在、町内に2軒あると把握しています。開業の見込みについては、現在のところ、相談を受けておりませんので、把握できていないという現状です。

議員

今後民泊は、増やしていきたいという方向でお考えでしょうか。

産業基盤整備担当理事

取り組みをしたいという事業者が見えたら、サポートをしていきたいと考えています。町として、民宿を開業していただきたいというふうなところまで推奨するという考えは、今のところ持っていないのが現状です。農家民宿等を体験、利用されているのは、主に海外の方が多く、紀伊半島地域が観光の目玉となっていて、海外からのお客様が増えてくるのであれば、町内においても導入推進していく必要があると考えます。

議員

農家民宿について、住民に知って頂くような取組等は考えていますか。

産業基盤整備担当理事

周知については、まだ法整備の不明瞭な点があり、それが整備されてから、ニーズ等についても、農家さんからのアンケート等を取りながら検討していきたいと思っています。

議員

すでに農家民宿をされている方の話を聞いて頂くような

機会を設けることもできるのではないかと思います。いかがでしょうか。

産業基盤整備担当理事

そういう声が多くなってきたら、勉強会の開催についても取り組む必要があると考えております。

議員

手続きに慣れていない方が開業しようとした場合に、戸惑うこともあると思います。が、相談を受けたら、サポートして頂けるのでしょうか。

産業基盤整備担当理事

農家民宿について認知度が上がってくると、開業するためには何と何の申請が必要であるとか、そういうサポートは当町でもさせて頂きたいと考えます。

議員

民泊からの波及効果については、どのようにお考えですか。

産業基盤整備担当理事

農家民宿の農業の波及というところで、農業体験を通して農業に興味を持って頂き、紀宝町の良さを知って頂ければ、紀宝町で新規就農が増えるという効果が見込まれ、担い手の確保に期待しています。

す。いろんな面での波及はあると考えています。

議員

民泊を実施することによる波及効果は様々あると思います。民泊が増えて利用する方も増えてくれば、民泊で用意できない体験メニューを近隣の農林漁業を営む方と連携して、提供できるのではない

か。また、町内の名所・旧跡などを案内するのであれば、その整備やおもてなしのための花壇の手入れなど、民泊を営んでいない方にも参加してもらうきっかけになるのではないかと考えます。問い合わせを待つだけでなく、研修やセミナーがあれば紹介するとか、民泊を開業している方の話を聞く機会をつくるなど、民泊の開業に関心を持ってもらえるような取組をお願い

します。

議員

新宮市と北越紀州製紙との環境保全協定書に基づき、新宮漁協と話し合いが行われていますが、地元である紀宝町では、どのような対応をされましたか。

環境衛生課長

北越紀州製紙から報告を受け、三重県紀南地域活性局環境室とも関連情報の共有等を行っています。

議員

先日の環境保全対策協議会で、話し合われていることの経過を伺いました。水質検査では結果が基準値以内である。しかしながら、漁港に異物・浮遊物が付着して破損するという現状もあります。こ

北越紀州製紙の工場排水

になり得るかどうかを含めて、勉強してまいりたい。そして住民さんにも情報を発信していきたいと考えております。

の隙間を埋めていくのが協定であり、地元自治体の役割ではないかと考えます。環境保全対策協議会で伺ったところ、基準よりも厳しいレベルの排水基準を求められているが、漁協さんの気持ちも理解できる。企業としてもここで満足するのではなく、浮遊物やスライム状のものをなくしていきたい。改善を進めていきたいという回答を頂きました。新宮市との話し合いでは、市の担当者も入る中、実務者レベルで話をする機会が続けてはどうかという提案が出されたということも報じられています。この実務者レベルの話し合いの場に、参加させて頂くことはできないのでしょうか。この場で、一日も早い課題の解決に向けて、協力して頂きたいと考えますが、いかがですか。

政策担当理事

北越紀州さんも、現状のままで満足するわけではないと、改善に向けて改善策も講じ、実行している部分もある。ただこれは短期的に結果が出るものばかりでないとおっしゃってありました。会社側の努力が続けられている現

状について報告頂いております。もう一点、実務者レベルでの話し合いについては、所在地のこともありますので、結果がどうなるかわかりませんが、こちらからも一応そういう話を伺ってみたいと考えます。

議員

町内の建物は、防災施設、避難所など新築で、また時間を経過したものも耐震構造でよく管理されています。平成23年の被災建物も改修されていますが、旧紀宝町庁舎、明和小学校校舎の取扱いは。

総務担当理事

旧紀宝町庁舎は、建築後47年で老朽化しており、合併特例債を財源として取り壊しを行ってまいりたいと考えております。

教育課長

明和小学校校舎は、平成23年台風第12号により被災し、施設として利活用が困難な状況となりましたので廃校の条例改正を行い、現在は、平成27年11月解体撤去の設計業務を発注済みで、平成28年度以降に解体撤去の予定です。

議員

矢測中学校浅里分校については、木造建築として良く管理されていますが、その利活用と保全について伺います。

総務担当理事

建築後64年が経過し、平成13年の休校後特別な使用はしていません。地区から引き続き使いたいと要望があり、引

き続き管理してまいります。

議員

高岡向清水避難所の今後の予定は。

総務担当理事

平成26年度に解体の予定でした。工事事務所として貸付終了後解体の予定です。

議員

御船公園はどのように。

住民サービス担当理事

紀宝町公園条例に規程された公園で、年1回除草をしています。現場確認もしております。地元、担当課と調整し景觀に配慮して対応します。

議員

旧紀宝町庁舎就業改善センターは耐震対策済で、今後も活用するのであれば抜本的な改修が必要と思いますが。

総務担当理事

昭和51年に竣工、39年経過した建物です。2階を商工会、3階を「遊び場」やダンスサークルの練習などに貸しており、今年は、外階段の改修を行いました。外壁や内装の傷みも認識しており、改修も含めて維持管理を行っていきます。

議員

利用度の低い建物を多く所

有すると維持管理費もかかります。不要なものは処分して経費節減に努めてください。

熊野川流域の諸課題

議員

浅里下山の国土交通省施設が平成23年の台風で被災し、そのままとなっていますが、今後どのようにするか問い合わせて頂きましたか。

産業基盤整備担当理事

超音波により流量計測を行う相賀水位流量観測所ですが今後、流量計測手法を検討する予定と伺っております。

議員

浅里河原の砂利採取について台風12号災害後地元要望に沿って進めて頂いています。現在の採取地は、護岸に近くその下流かばた地区が洗掘されています。洪水時の熊野川の流れを考え、少し沖合に採取場所を変えられないか問い合わせてください。

老朽化した町管理 建物の取り扱い

- ・ 庄司 健 議員
- ・ 老朽化した町管理建物の取り扱いについて
- ・ 熊野川流域の諸課題について



産業基盤整備担当理事

河川管理者三重県に聞いたところ、堆積土砂撤去計画に基づき進めており、護岸の洗掘は河道の形状によるもので砂利採取との関係はないと考えているとの事でした。

議員

県の説明は、洪水時の川から見て違和感を感じます。上流釣鐘の岩場ではねられた水が浅里側で集まり洗掘されると考えますので、現地を見て話をできませんか。

産業基盤整備担当理事

熊野建設事務所の担当者に伝え、採取場所の再検討について要望していきます。

議員

洪水時に流出し、河川に露出している鋼材車両等河川管理者に処分要請できませんか。

産業基盤整備担当理事

町からも撤去の検討をお願いしています。

議員

熊野川の両岸の流下ごみについて、三重県、和歌山県、新宮市とともに大規模な清掃活動ができませんか。

産業基盤整備担当理事

7月の河川愛護月間を機会

に話を出していきます。

議員

熊野川に工場の一部が落下した業者、また絶えず残土を河川に流出させている業者に機会を見て指導できませんか。

産業基盤整備担当理事

和歌山県への問い合わせではコンクリート施設については国交省工事に合わせ撤去の予定で協議中とのことです。

議員

最近熊野川の濁りは、遠目に少し改善しました。しかし泥が堆積し、魚類の回復はまだです。県等と協力し魚類の継続調査ができませんか。

産業基盤整備担当理事

国において十年に一回、水辺の国勢調査をしていると聞いています。三重県は定期的な環境調査は実施していないとのことですが河川の美化と合わせ、全体調査ができないか検討します。

議員

ダム建設から徐々に悪化した熊野川の水質は、台風で徹底的に荒れてしまいました。今自然は徐々に回復していると思いますので、ごみの清掃

等尽力をお願いします。

※この他に「林道鮎田北松杖線」についての質問がありました。



榎本 健治 議員

- ・開かれた学校と地域の連携・協働の在り方について
 - ・スポーツ振興について
- 他

コミュニティスクールの導入

議員

9月の一般質問で学力向上について一般質問させて頂きましたが、コミュニティスクールの導入について、今後の

町内各小中学校への導入をお願い致します。

教育長

町教委としても新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働に向けた新たな取り組みの重要な仕組みと捉えております。町総合教育会議あるいは町教育委員会定例会等で協議をする中で、町内小中学校への制度の導入に向けて町条例の制定と準備を進めていきたいと考えております。

議員

今年度の学力・学習状況調査のなかの生活習慣の調査のほうでもやはり地域の関わりというのが希薄化しているということも、指摘されているなかで、コミュニティスクールの導入時期をお伺いします。

教育長

出来れば平成28年4月当初には導入する方向で一番最短で考えております。条例等の整備もそのへんに照準を合わせたかたちのなかで準備を進めたいと考えております。

障がい者スポーツ指導員の育成

議員

障がい者スポーツ指導員の育成について、スポーツはご承知のとおり夢と感動、希望を人々に与えます。障がいの種類及び程度に応じ、必要な配慮がなされた環境のもと、自立的かつ積極的にスポーツを行うことができるように講じていく必要があります。町内で障がい者スポーツ指導者はどれくらい存在するのか。

教育課長

三重県に確認したところ、町内における障がい者スポーツ指導員につきましては初級指導者が2名となっております。

議員

まだまだ足りてないのが現状だと思えます。障がい者スポーツ指導員については、障がい者スポーツの底辺が整っていないのが現状です。指導者の育成の観点から一部助成や講習料について減免等できないかお伺い致します。

教育課長

障がい者スポーツの普及、発展の基盤をつくっていくためには指導員の育成が不可欠であるというふうに考えてございます。そのことから今後障がい者スポーツ指導員の資格取得を促進していく取り組みを検討し、すべての人が自分らしくスポーツを楽しむためのサポートを充実させてまいりたいというふうに考えてございます。

高等学校の 統廃合問題

議員

高等学校の統廃合問題で、紀南地域において平成16年から少子化や社会状況の変化に対応するためとし、紀南地域高等学校再編活性化協議会が設立されました。その後2年間、分校方式の導入であり、6から8学級規模の高校としての議論が重ねられてきました。結果は紀南高校は、学校運営協議会を設置しコミュニティスクールの認可をと

り、一方木本高校は総合学科を設置し、活性化を図ってきました。その後、協議会での内容は、どのような状況になっているのか。

教育長

平成25年2月の時点のとりまとめの中で、まず紀南高校は1学年が2ないし3学級、木本高校は同じく5ないし6学級の規模の単独校として、それぞれ存続することが望ましいが、その上で将来的に紀南高校が1学年2学級もしくは木本高校が1学年5学級の維持ができないとき、両校の統合は避けられないと県教委から示された。本年度の第2回紀南高校活性化協議会からは平成25年2月の県教委とめを基本にして新しい高校、統合した高校の設置場所について協議が行われている。協議会のなかでは、津波等被害の影響を受けない、安全な場所に設置すべきという意見が多かったということもあり、現在ある木本、紀南の場所の他に熊野市と御浜町の高台地域の2カ所を加えた合計4つの場所を想定して、協議が行われている。

議員

各中学校からの通学距離や費用、先日の活性化協議会のなかでも出てきました。熊野市の高台、御浜町の高台で議論されていますが、私は紀宝町であってもよいというふうに思います。高校を誘致するという考え、町長のご所見をお伺い致します。

町長

今議論をされている経過についてはしっかりと成り行きを見守っていききたい。当然地元という思いであれば、それはそう思っていますので。そういう状況で場所を決定するとき、いい条件のところを探していくかたちになるうかと思えます。

議員

先日議会視察行った隠岐島前高校魅力化プロジェクトで島の再生における注目すべき点というのは学校改革を中心とする島の人づくり施策であった。今後地域で高校が存在していくなかでは市町としても何らかの支援ができる。地方創生の観点からも私は今後必要になってくるのではないかと思います。

地方創生

議員

早稲田大学の岡田久典教授を招いた勉強会で、インターネットN高等学校において、紀宝町でぜひ実習先として受け入れて頂きたいという話がありました。進捗状況をお伺いします。

企画調整課長

N高等学校は学校法人角川ドワンゴ学園が運営する、インターネットを利用した新しいかたちでの高等学校でございます。ネットでの授業が中心で、様々な課外授業を行っていくものであり、そのなかの一つとして地方自治体等が協力して職業体験を行うというメニューがあります。本町では豊かな自然を活用し、柑

橘栽培、水稲栽培、また熊野川の川下り、ウミガメ公園の運営などを行っており、都会では体験できないものがたくさんございます。規模的には1回15人程度を目安に体験学習を実施していきたいと伺っていますので、それならば町としても十分対応可能ではないかということで町長にもお話をすることで、来年度について、取り組みを行っていく方向で今現在検討をしています。

※榎本議員の一般質問については、本人のホームページに掲載しています。

(<http://www.enomotokenji.com/ipan.htm>)



次回定例会の予定

3月2日（水）開会予定です。
傍聴は議会事務局で受付ています。

議会生中継について

公共施設5ヶ所のロビー等において、町議会本会議の模様を生中継していますので、議会日程をご確認のうえ、ぜひご覧ください。

- ① 役場本庁舎
 - ② 生涯学習センターまなびの郷
 - ③ 福祉センター（鶴殿）
 - ④ 保健センター（神内）
 - ⑤ 相野谷診療所
- ※放映時間については、当該施設開館時間内となりますので、ご了承ください。

インターネット録画中継について

町議会では開かれた議会を目指して、平成23年6月定例会分からインターネットによる録画中継を実施しております。映像をご覧頂くには、
◎紀宝町ホームページ↓「町議会情報」↓
「インターネット議会中継」をクリック

可決された議案（12月）

- 公平委員会委員の選任
公平委員に登立節雄さんを選任することに同意しました。
- 紀宝町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定
- 紀宝町立幼稚園預かり保育条例の制定
- 紀宝町子どもいじめの防止等に関する条例の制定
- 紀宝町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正
- 紀宝町消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- 紀宝町税条例の一部改正
- 紀宝町国民健康保険税条例の一部改正
- 紀宝町委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- 新町まちづくり計画（市町村建設計画）の変更
- 平成27年度紀宝町一般会計補正予算
- 平成27年度紀宝町国民健康保険特別会計補正予算
- 平成27年度紀宝町後期高齢者医療特別会計補正予算
- 平成27年度紀宝町診療所事業特別会計補正予算
- 一般国道42号新宮紀宝道路の早期完成・近畿自動車道紀勢線全線事業化に関する決議

編集後記

新春の喜びも一息ついた1月10日まなびの郷で「紀宝町制施行10周年記念式典」が盛大に開式されました。合併後10年間で一番大きな出来事は、平成23年9月の紀伊半島大水害での熊野川が氾濫した浸水災害と土砂災害からの復旧、復興ではないでしょうか。

この大災害で災害救助、支援活動に携われた貢献者、また団体に対し感謝状を贈呈され、町政功労者に対しても長年の努めに表彰授与がなされました。

この先、10年、15年後の未来を見越せば、紀伊半島一周高速道路の完成が不可欠ではないでしょうか。地域住民の理解を得ながら「新宮紀宝道路」の早期完成が実現できるよう願っています。議会の意思として、第4回議会定例会に於いて「一般国道42号新宮紀宝道路の早期完成、近畿自動車道紀勢線の全線事業化に関する決議」を賛成多数で可決致しました。（文責 的場）

「議会だより」（36号）

編集委員 原 章三

莊司 健

的場 孝一